

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス

平成 28 (2016) 年 9 月 29 日

第 23 号

発行 桐ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、
教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに
関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供し
ています。

文化庁

美しい日本語は尊重、 日常の活用はより現代的に

—文化庁が平成 27 年度
「国語に関する世論調査」を発表

●美しい日本語は「思いやりのある言葉」

9 月 21 日、文化庁が平成 27 年度の「国語に関する世論調査」を発表した。調査対象は、全国 16 歳以上の男女、調査対象総数は 3,589 人、有効回答数は 1,959 人。平成 28 年 2 月 20 日から 3 月 6 日までの間に、調査員による面接調査法で行われた。

「美しい日本語があると思うか」の質問には、90.8% が「あると思う」と回答。「美しい日本語」とはどんな言葉かについては、「思いやりのある言葉」(63.3%)、「挨拶の言葉」(45.3%)、「季節の移り変わりを表す言葉」(34.5%)、「控え目で謙遜な言葉」(34.3%) が上位を占めた。上位の 2 項目は前回に続いての同順位となった。

●外部の人には「○○先生」

中高生が担任の先生に対する言葉遣いについて、場面ごとに聞いた質問では、「敬語を使って話すべき」とする場面を、「授業中」とするのが 74.6% で最多。続いて「休み時間に職員室で話すとき」が 73.7%、「クラブ活動で指導を受けているとき」が 72.6% となった。一方で、「休み時間に廊下で話すとき」は 56.7% となり、指導を受ける場面と雑談など個人的なやりとりの場面

では、敬語の必要性に差異がみられた。

教師が外部の人へ同僚のことを話す場合、「田中は…」 「田中さんは…」 「田中先生は…」 「田中教諭は…」 のどれが一番良いかの問いに、「田中先生は…」 が 72.7%、「田中教諭は…」 が 13.7%、「田中は…」 が 10.1%、「田中さんは…」 が 2.6% となった。会社員の場合を聞いた同様の問いでは、「鈴木は…」 が 41.1%、「課長の鈴木は…」 が 30.9% であり、顕著な差となった。教師の敬語遣いが一般常識と違うことは度々指摘されてきたが、世論もこれを容認する形となっているようだ。

●モバイル機器の浸透は文字遣いにも影響

「言葉遣いに大きな影響を与える情報媒体」としては、「テレビ」(86.6%)、「新聞」(43.7%) と続いたが、3 位に「携帯電話(スマートフォン含む)」が 34.3% となり、平成 20 年調査に比べ 20 ポイント増となった。前回の選択肢になかった「タブレット端末」も 5.0% となり、モバイル機器での情報収集が進んでいる傾向が顕著となっている。

「情報機器の普及は言葉遣いに影響すると思うか」の問いに、「大きな影響がある」(47.6%) と「多少影響はある」(37.7%) で、約 85% が影響を受けると答えた。どのような影響かを聞いたところ、「漢字が書けなくなる」(57.8%)、「言葉の意味やニュアンスが変わる」(45.1%)、「新しい言葉や言葉遣いが増える」(42.1%) などが上位となった。「(笑)、(汗)、(怒)」などの省略文字を使うことがあるのは 39.3%、絵文字を使うことがあるとしたのは 56.1%。情報媒体などの普及につれ、文字の使用にも影響が出ているようだ。

いわゆる「ら抜き言葉」に使用については、「見れる」(48.4%)、「出れる」(45.1%)、が「見られる」(44.6%)、「出られる」(44.3%) を逆転した。

大好評発売中！
月刊シリーズ
(全12巻)

新教育課程ライブラリ

A4判 / ぎょうせい [編]
各巻定価：本体 (1,350円+税)、セット定価：本体 (16,200円+税)

今からできる次の学びづくりを強力にサポート。
第一線の執筆陣による解説・提言と各地の教育委員会・学校の実践紹介により
各巻特集テーマを徹底追究します！

■連載ラインナップも充実！ ○新課程を生かすカリキュラム・マネジメント(天笠 茂) / ○「育ち」と「学び」をつなげる授業(奈須正裕) / ○実践！アクティブ・ラーニング研修(村川 剛弘) / ○ミドルリーダーが創るこれからの学校(大脇康弘) / ○学校改革の新定石(西留安雄)ほか

● 既刊——好評発売中！

- Vol.1 新教育課程型授業を考える—アクティブ・ラーニングの理論と実践
- Vol.2 学校現場で考える「育成すべき資質・能力」
- Vol.3 子どもの姿が見える評価の手法
- Vol.4 新教育課程を生かす管理職のリーダーシップ
—次世代に求められる資質・能力の育成に向けて
- Vol.5 学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント
- Vol.6 「チーム学校」によるこれからの学校経営
- Vol.7 これからの授業力と研修
- Vol.8 特別支援教育の実践課題
- Vol.9 カリキュラムからみる不登校対応

● 続刊ラインナップ

- Vol.10 全国学力・学習状況調査にみるこれからの課題
—10月下旬刊行予定
- Vol.11 「社会に開かれた教育課程」を考える
—11月中旬刊行予定
- Vol.12 見えてきた新学習指導要領
—12月中旬刊行予定

平成27年度 国語に関する世論調査 コミュニケーションの在り方・言葉遣い

文化庁文化部国語課 [編]
A4判・定価(本体 3,800円+税)

「国語」の今がわかる唯一の書！

- ◇文化庁が毎年実施している国語に関する世論調査の最新結果(28年9月公表)をまとめたもの。
- ◇今回は、「場面と敬語(生徒が先生に対して/部下が上司に対して)」「外部の人への言い方(学校の先生の場合)」などTPOに応じた言葉遣いや、「情報機器の普及と言葉遣い」など情報化の中でのコミュニケーションの実態について調査。
- ◇調査開始以来初めて「ら抜き言葉」を使う人が多数派となったことも話題に。

■主な目次

●日本語を大切にしているか / ●場面と敬語(生徒が先生に対して)(部下が上司に対して) / ●仕事後に掛ける言葉 / ●同年輩の人にどのように尋ねるか / ●望ましい呼び方(課長に部下が呼び掛けるとき) / ●外部の人への言い方(学校の先生の場合) / ●携帯電話の使用について / ●インターネットの利用頻度 / ●情報機器の普及は言葉遣いに影響するか / ●記号類や様々な表記を用いた表現 / ●二つの言い方(「れる/られる」「せる/させる」など) / ●言葉の使い方—どちらを使うか(「すばらしさに鳥肌」「恐ろしさに鳥肌」など) / ●慣用語等の言い方



Q&A 小中一貫教育 改正学校教育法に基づく取組のポイント

文部科学省小中一貫教育制度研究会 [編著]
A5判・定価(本体 2,700円+税)

4月の改正学校教育法施行により制度化された 「小中一貫教育」 その全てがわかる決定版！

- ◇小中一貫教育に関してよく寄せられる疑問点を中心に、文部科学省担当者が70のQ&Aに整理してわかりやすく解説。
- ◇「義務教育学校」「小中一貫型小学校・中学校(併設型、連携型)」の概要、設置・運営の留意点、教育課程の特例、施設や教職員の位置付けなど、教育委員会関係者・学校管理職必携の内容。



●「きょういくプレス」
無料メール配信サービスの
お申込みを承り中です。右
QRコード
から簡単に
手続きいた
できます。



●ご注文・お問い合わせ先

株式会社 ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者